

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 救急需要の増加に伴う救急隊の増強に向けた地域別救急需要予測シミュレーション
	●研究の対象 浜松市において令和元年（2019年1月1日）から令和6年（2024年12月31日）までの期間に発生した救急要請に基づき救急隊が出場した全事案を対象とします。 対象とする情報は浜松市消防局が保有する救急出場データ約27万～30万件程度です。
	●研究の目的 救急医療においては現場到着時間の短縮が患者の生命予後や機能予後に直結することが知られており、国際的にも「8分以内到着率」や「10分以内到着率」が主要な評価指標とされています。浜松市においても、これらの指標を維持・改善することは喫緊の課題です。 この研究では、救急需要が増加する中で、地域ごとの需要ピークや、どのタイミング・どの区域に救急隊をどれだけ増強すれば、目標とする現場到着時間を達成・維持できるかを検証することを目的としています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2026年3月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は、セキュリティの担保されたクラウドストレージを用いて行います。データは研究責任者・研究分担者が保管・管理します。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

«利用し、又は提供する試料・情報の項目»	<ul style="list-style-type: none"> ●研究に使用する試料・情報 <ul style="list-style-type: none"> ・救急出場関連データ（浜松市消防局保有データ）：出場隊、覚知日付（年・月・日）、覚知曜日・曜日名、覚知時刻（時・分）、現場到着時刻（時・分）、覚知から現着までの所要時間（時・分）、出場から現場までの走行距離 など
«利用する者の範囲»	<ul style="list-style-type: none"> ●機関名および責任者名 <ul style="list-style-type: none"> 研究代表機関：浜松医科大学 齊藤岳児 共同研究機関：浜松市消防局 三島泰幸
«外国にある者に対する試料・情報の提供»	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
«試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称»	国立大学法人浜松医科大学
«試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)»	この研究では既存の行政データや公開統計データを使用し、個人に関する情報は使用しないため該当しません。
«資料の入手または閲覧»	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。また、研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、可能な範囲内で結果をお伝えします。
«情報の開示»	研究の概要などの情報の開示を希望される場合は、下記«問い合わせ先»までご連絡ください。
«問い合わせ先»	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 次世代創造医工情報教育センター</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

担当者： 小俣敦士

TEL： 053-435-2431

E-mail： hama-nxcec511@hama-med.ac.jp